

イタリア巡礼とルルドへの旅 ①

サンピエトロ大聖堂 イタリア・ヴァチカン

訪問：2016年5月18日（水）

建築家：ブラマンテ、ミケランジェロ、マデルノ、ベルニーニ

ローマと言えばサンピエトロ大聖堂を思い浮かべる。ローマは、「聖ペテロの地」として、西欧世界の宗教的、文化的中心となり、長い歴史がある。サンピエトロ大聖堂は、カトリックの総本山、キリスト教世界でもっとも聖なる場所の一つであり、今回の巡礼の出発点となった。

建設の歴史を調べると、2世紀半ば聖ペテロの墓の上に小さな礼拝堂が建ち、4世紀に入ってローマ皇帝コンスタンティヌスが大聖堂を建設した。その後何世紀にもわたり、多くの巡礼者であふれたが、アヴィニオンの教会分裂（1305-1377年）で大聖堂は荒廃してしまった。

現在の聖堂は1500年代に教皇ユリウス2世によって礎石が置かれた。この建設事業は建築家ドナート・ブラマンテからミケランジェロへと受け継がれ、中央部分に大クーポラ（丸屋根）を載せ、その下に教皇祭壇を置く設計とした。その後建築家カルロ・マデルノが大聖堂の縦軸を伸ばしラテン十字架の平面プランとし、壮麗なファサード（建物の正面）も1612年に完成された。正面部分上方に帯状に記された銘文は、ファサードがボルゲーゼ家出身の教皇パウルス5世の時代に完成したことを意味している。頂上部分には、欄干の上に高さ6メートルの彫像が何体も並び、両側の二つの塔には鐘と装飾美しい時計が付いている。

その後教皇アレクサンデル7世のもとで、ベルニーニが大聖堂前の広場（大聖堂により近い台形の部分と、円柱列に囲まれた楕円形の空間）を1667年に完成させた。

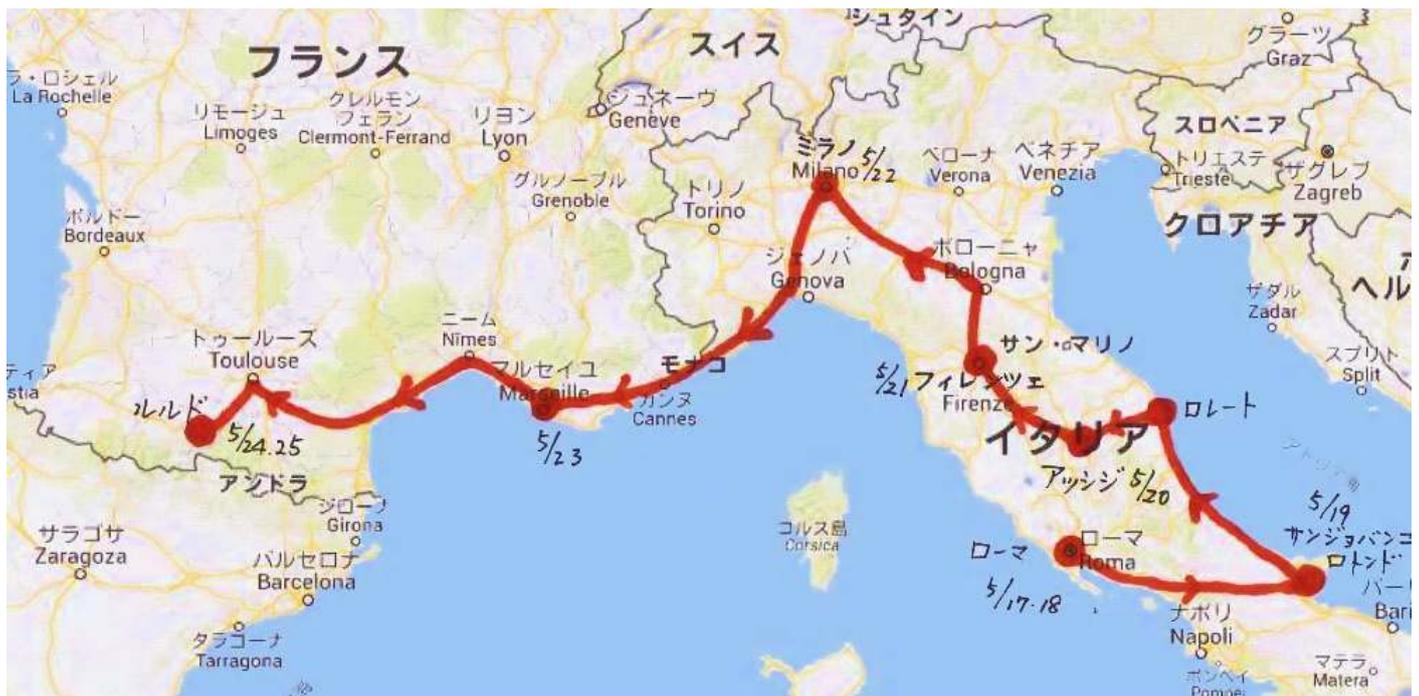
サンピエトロ広場には世界各国から大勢の人々が集まり、大聖堂から両腕を広げたような柱廊に守られ、温かく迎えられている。



「ガブリ神父様と行く巡礼の旅」

2016年5月17日～5月27日（11日間）

- 5/17（火） 10：30 成田空港出発 19：45 ローマ空港着
- 5/18（水） 終日ローマ・ヴァチカン巡礼
午前法王謁見、午後サンピエトロ大聖堂巡礼、「聖なる扉」、
ジェス教会にて日本語プライベートミサ（17：45～18：45）
- 5/19（木） ローマからバスにてサンジョバンニ・ロトンドへ（381 km）
7：30 朝の祈り約1時間
12：00 昼の祈り 14：45 ピオ神父の教会 聖域内巡礼
16：30 日本語プライベートミサ
- 5/20（金） サント・エルピディオの教会親善訪問、ミサ及び信徒との交流
ロレートにてナザレの聖家族の家の壁で作られた聖堂巡礼（アッシジまで498 km）
- 5/21（土） アッシジ終日巡礼 9：00 サンフランシスコ修道院内聖堂にて日本語ミサ
午後ミゼリコルディア（慈悲の組）訪問 （フィレンツェまで176 km）
- 5/22（日） 9：00 フィレンツェ
サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂にてイタリア語ミサ、夕の祈り
（ミラノまで304 km）
- 5/23（月） 移動日 朝の祈り1時間 ミラノからニース（318 km）マルセイユへ（204 km）
- 5/24（火） カルカソンヌ経由ルルドへ（572 km）
21：00 マリア・プロセッション（ろうそく行列）
- 5/25（水） 終日ルルド巡礼 15：00 サクレ・クール教会にて日本語ミサ
「聖母にささげるコンサート」
- 5/26（木） 帰国の途に → 5/27 成田着



「一緒に行きませんか。」と仕事の関係で出会った神父様に誘われ「はい、行きたいです。」と答えてしまいました。カトリック信者ではなく、ルーテル教会員だから行けるのか不安でしたが、参加できるとのこと。日本福音ルーテル教会は1984年からエキュメニカル（教会一致）運動でカトリックとの対話の場も設けており、以前四谷のイグナチオ教会で行われた合同礼拝にも出席しました。イタリアには何度か旅行しましたが、「巡礼」には行ったことがないので大変興味を持ち、参加を決めすぐに申し込みました。



巡礼団 45名（内神父5名）

法王謁見

法王フランシスコは、歴代初の南米出身（アルゼンチン）であり、大変人気があり、慕われている。キューバとアメリカの国交正常化交渉のカギを開き、アメリカ大統領選のトランプ氏との話題や、中東への訪問など世界平和のために尽力し、大きい影響力を持っている。



サンピエトロ広場

世界各国からの巡礼団は、スペイン、イギリス、アメリカ、日本など国名とグループがアナウンスされるたびに歓声をあげ喜びを示す



法王フランシスコは白い屋根の下の中央に



数か国語で聖書朗読「ラザロと紫の衣を着た金持ち（ルカ 16：19）」

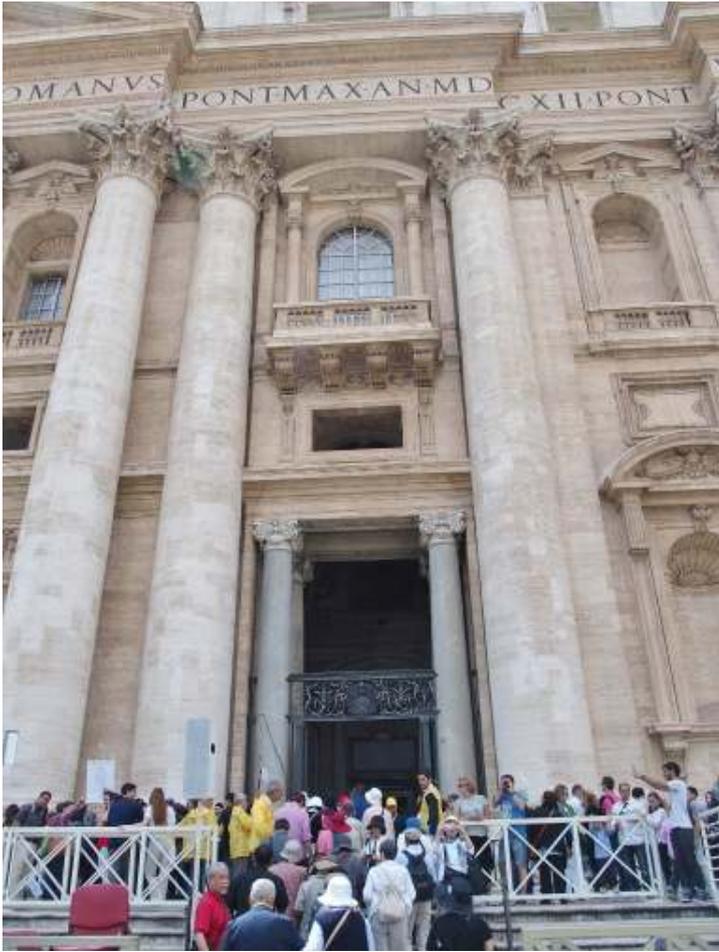


巡礼者を祝福する法王



法王フランシスコ 慈愛に満ちた眼差し

Holy Door



「聖なる門」の前に並ぶ巡礼者

聖なる年（2016年は聖年）に教皇自らの手で開かれる聖なる扉 Holy Door



青銅の「聖なる扉」1950年ヴィーコ・コンソルティ製作

ピエタ



マデルノ作 大聖堂の玄関にあたるアトリウム
十字架の下に小さく見えるのはピエタ



ミケランジェロ作のピエタ

中央身廊 聖壇



ベルニーニの大天蓋



ベルニーニの大天蓋 4本の巨大なねじれ柱に支えられている。円柱にはオリーブと月桂樹の枝が螺旋状に巻き、上には天使の像、金の球体。



司教座の祭壇 ハトは聖霊のシンボル



聖卓



説教台



聖ペテロ像



小聖壇

礼拝堂背面 メイン出入口口



「死の扉」 ジャコモ・マンズー作 1964年